

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

私達の未来は明るいのかな

白河市立白河中央中学校 3年 佐々木 綾花

「消費税5パーセントにしましょう。」「消費税廃止をし、まず景気。」「2年間食品消費税なし。」「食品は消費税廃止、ゼロにします。」7月参議院立候補者の訴えや、ニュースからよく耳にする機会が多かった。

消費税は、そんなに簡単に増やしましょう、減らしましょうという感じの税金なのか少し疑問があった。消費税がなくなれば支払い額が少なくなることは誰しも嬉しいと思う。しかし、この訴えを耳にし、消費税減税や廃止をして私達の未来はどうなるのか、景気が良くなればよいことだと思ひ、物を買う私達にとっては大歓迎の話なのかもしれない。でも、明るい未来はあるのかな、それとも暗い未来があるのかなとふと思った。

今の消費税は、8パーセントと10パーセント。私のおこづかいから考えるととても高い。でも、高いな大変だなと感じてる今の考えや思いだけで、これからの未来はあるのかな、とも考えさせられる。そもそも消費税は、何に使われているのか調べてみると年金、医療介護、子育て支援。どの内容も私達の身近に必要なことだと思う。

私には、一番身近なことは医療費だと思う。病気にかかり病院へ行き薬が出て支払いなしで家に帰ることができる。自分が支払いをした消費税が医療費に回る仕組みは、とてもよくありがたいと思ひえる。また、私の祖父母からよく聞く年金もある。仕事をしていないできない世代にはありがたいと思う。また、子育て

支援は、少子化の今必要なことだとも思う。安心して保育園、小学校、中学校、高校、大学と誰でも教育を受ける権利や義務を充実できる社会作りがよいと思う。

少子化で高齢化社会になり、世の中の流れと考えかたも日々変化してきている。他の国から見て、日本の消費税が安いとも言われている。消費税が高い国では社会保障制度が充実しているともいわれている。今の日本の消費税で足りているのか、多いのかは、少し難しい問題かと思うが、廃止にははいけないと思う。今がよいからではなく10年先も安心して明るく暮らしていけたらいいと思う。それには、消費税も必要な財源なのかもしれない。それが、未来の私と次の世代まで日本は過ごしやすい豊かな国だと思えると思う。

消費税やその他にもたくさんの税がある。税金は国民の義務ではあるが、何が誰に何のために必要かを国民一人一人が考え納得し、暮らしやすい社会が築けていけたら明るい未来があるのかと思う。